

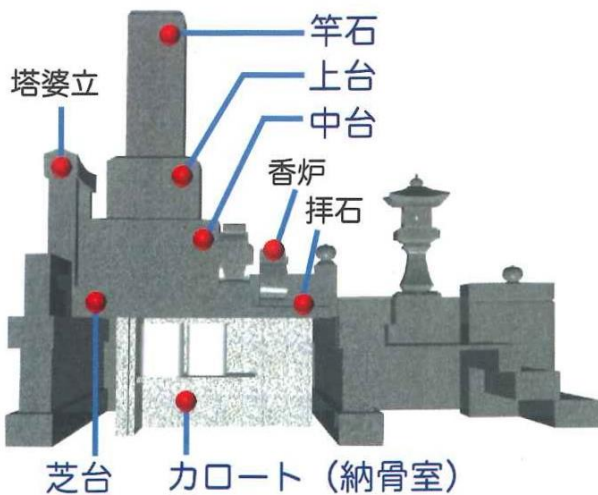
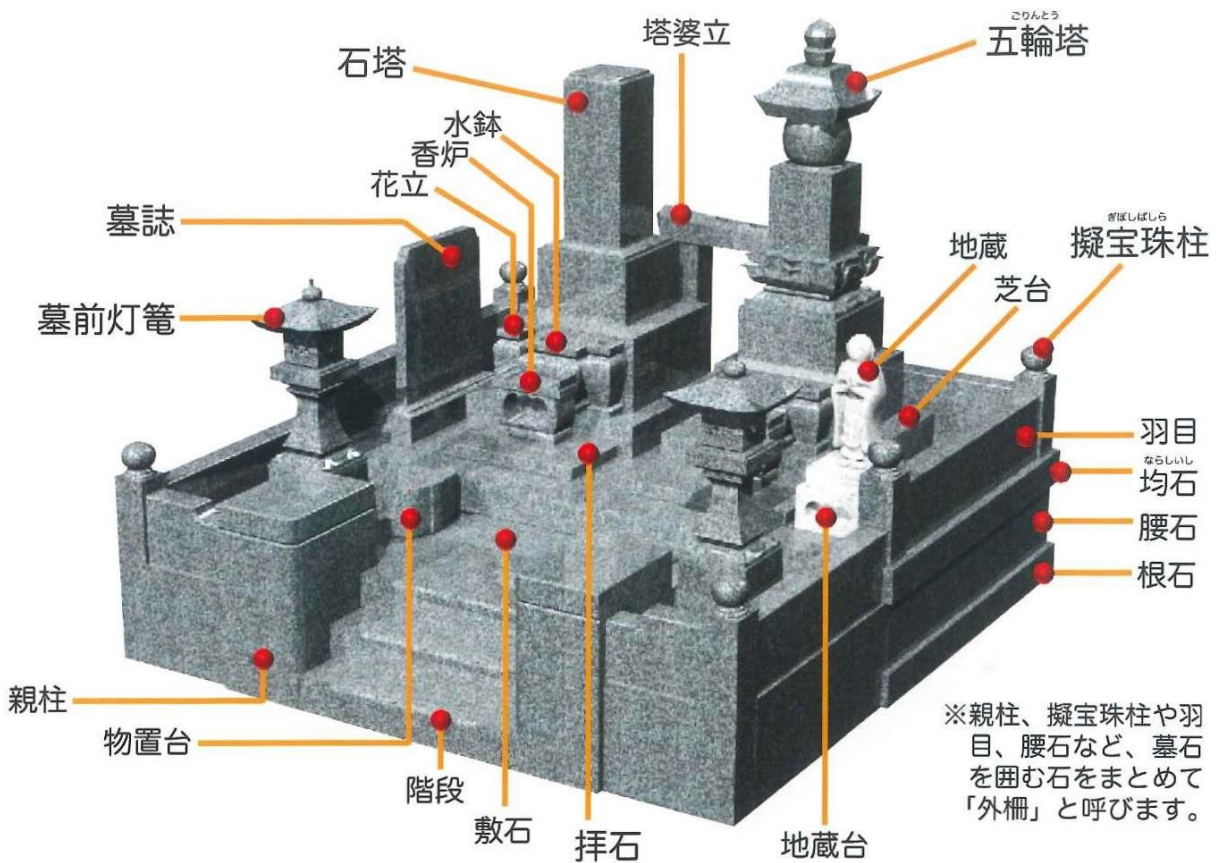
お墓の基本構造

お墓は、墓地の条件や建てる人の考えによって、いろいろなスタイルがあります。ここでは「和型」と「洋型」の標準的な構造をご案内します。

和型

図は周囲に配置する小物も含めた「伝統的な和型のお墓」を表しています。ご検討の際、参考になさってください。

※図には、墓地の面積や宗派によって建てないものも含まれています。



- ・墓石の下には「カロート」と呼ばれる納骨室が設けられます。骨壺を収めたり、床面の開口部から土に散骨するようになっています。
- ・近年ではカロートの納骨扉が地上に設けられるタイプもあります。(次ページご参照)

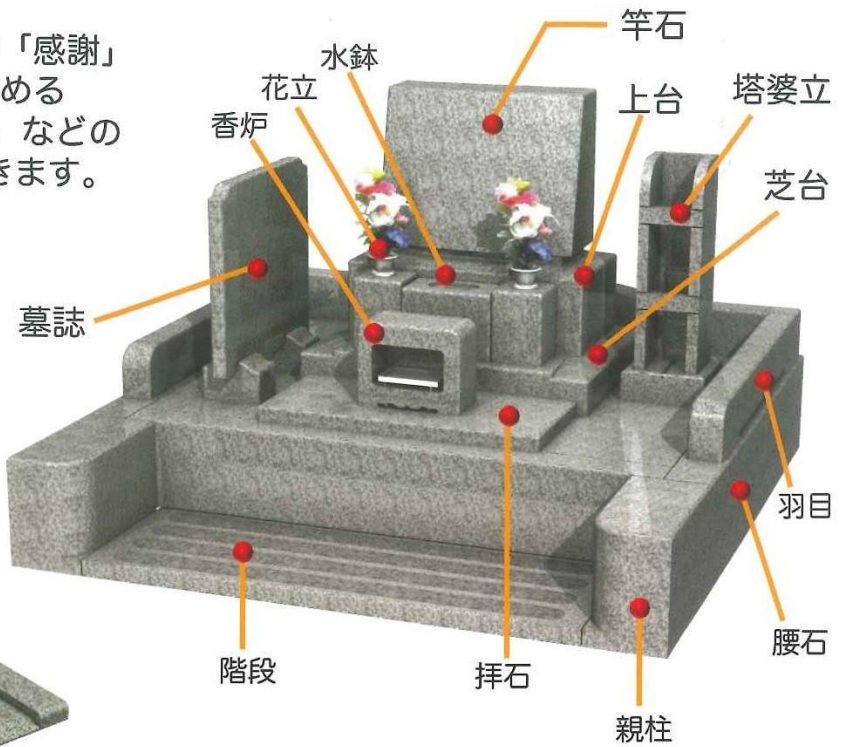
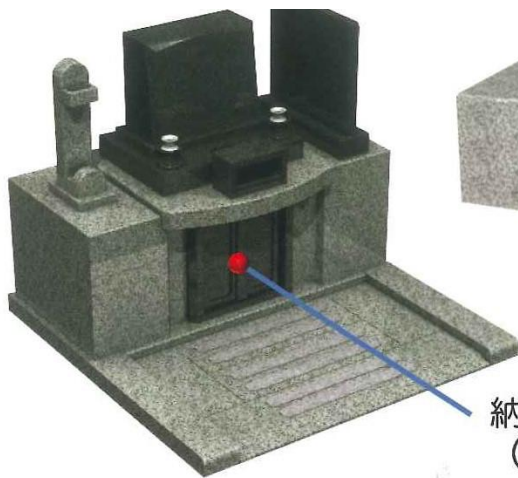
洋型

縦に長い和型墓石に比べ彫刻の自由度が高いことや背が低い欧米的なデザインが好まれ、近年、主流となっているタイプです。

「故人の好きだった言葉」や「感謝」「愛」など家族のきずなを深める文字を彫刻したり「花模様」などの象嵌加工※を行うこともできます。

※ そうがんかこう

模様を彫りこんだくぼみに、石種の違う石を埋め込み加工する



墓石のお手入れについて

●基本は水と布

柔らかいタオルやスポンジに水を含ませ、優しく洗います。

必ず柔らかいタオルで拭き取りましょう。

(特にお墓掃除の集中するお盆時期は、墓石を
水に濡れたままにしていると水あかの原因と
なりやすいので注意します。)



彫刻文字部分には歯ブラシが便利です。

日々の蓄積されていく汚れ、月に一度程度はお墓参りと
こまめな掃除をすることにより、お墓はずいぶん長持ちします。

●注意すること

炎天下での掃除・お墓参りは熱中症に十分気をつけましょう。
虫刺されなどの対策も万全に。

